

# 埼玉支部報 第3号

 目次
 平成23年度総会実施/事業計画決定
 6

 障がい者とのふれあい登山(社会貢献委員会)
 1
 50山ラリー実施状況
 6

 房総での地震体験(宮川美知子)
 2
 第2回安全登山講演会開催
 7

 雲取山と原生林(雲取山荘 新井信太郎)
 3
 埼玉支部委員会状況・同好会状況
 7

 埼玉県の温泉(早川泉舟)
 5
 会員異動状況
 8



ふれあい登山(高麗駅を出発するときの記念撮影)

# **障がい者とのふれあい登山** 社会貢献委員会 大久保春美

4月17日(日)、当支部および一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会の主催による障がい者の登山を実施した。障害者スポーツ協会として初めて行う登山事業であり、もちろん当支部としても初めての障がい者との登山でした。目的地は西武秩父線沿線の日和田山(305m)から駒高集落までとし、体力のある人は物見山(375m)を往復、帰路は往路と同じコースを戻ってくる行程である。参加者の募集にあたり「山道の登り降りが可能な障がい者及びその家族」を対象にし、障がい者の体力や歩行能力がつかみきれないことから、同じコースを往復し状況をみて折り返しできる行程とした。

参加者は、身体障がいや知的障がいのある19名、 付添者15名、山岳会関係者23名、スポーツ協会職員 と役員6名、総勢63人の大登山隊になった。7つの班 を編成し、障がいや体力の状況、登山経験などを考慮 して1~6班に分け、各班には支部会員をリーダー、サブリーダーに配置し、7班を本部班とし危険な個所をサポートする者と医師の会員を配置した。

5日前の天気予報では雨、3日前には曇り、そして当日は春の日差しが気持良い登山日和となり、大宮からの貸切バス組と現地集合組が高麗駅に集合した。駅前で開始式、準備運動、全員で記念写真撮影の後、班ごとに出発。登山口では、山岳会員から山の歩き方の指導を受け、荷物や服装の調整をしたのち再びゆっくり歩き始める。本コースの難所であり、また絶景ポイントである金刀比羅神社鳥居の岩場では、真下に見える巾着田の桜と菜の花のコントラスト、そして遠くに広がる関東平野や都心のビル群の眺望を楽しむ。神社後ろの岩が露出した個所を緊張しながら慎重に抜けると日和田の頂上は近い。全員が日和田山の山頂に集まった

が、63人全員が一緒に記念写真をとる広さはなく、班ごとに記念写真を撮る。山頂からは、春霞の中にうっすらと浮かぶスカイツリーを眺めることができた。日和田山から駒高まで、何度か上りと下りを繰り返し、全員が駒高集落に到着。暑くもなく寒くもなく、鶯の鳴き声と桜吹雪のなかでの昼食を楽しむ。



日和田山中腹の金刀比羅神社からの巾着田

6班のうち3つの班は物見山を往復、他の班は一足早く往路を引き返す。ゆっくり慎重に下山し14時過ぎには、全員が登山口に到着することができた。高麗駅までは、春の里山の風景を楽しみながら14時50分到着。皆、十分満足したようで、「次の登山は秋ですか?」との

質問もあるほど。来年度も実施することを約束して15時 20分解散式を終えた。

さて、障がい者と家族、そして山岳会員ともに、和やかでいい一日を過ごすことができ、多くの参加者からは「楽しかったです。ありがとうございました」と、嬉しいお礼がありました。また、「登山はいつものスポーツとは違うことを知った」「底がつるつるしていない靴を履くことと言われていたけれど、底がすり減っている靴を履いてきて反省した」など、感想や反省の声もありました。さらに、ジャンバーを脱いだらリュックにお弁当が入らなくなり、手に持っていたお弁当をトイレに忘れてしまい少しパニックになっていた青年もいました。駒高では、「自分は大丈夫、物見山に行きたい」と強く希望した最後尾グループの人もいました。下山途中で転んで、手と膝を擦りむいた人は、自分の注意が足りなかったことをしきりに反省していました。

それでも、皆が無事に下山でき、満足感を口にし、次の山を楽しみにしていることは何よりの成果だったと思います。それぞれが小さな失敗はしたものの、そこから学ぶことも多かったようです。20数名の山岳会員一人ひとりのサポートがあったからこそだと思います。皆さん、ありがとうございました。

### **房総での地震体験** 宮川美知子

3月11日(金)、日本山岳会のメンバー4人で、1月から予定していた房総の津森山(336m)と人骨山(292.6 m)の日帰り山行を実施した。

内房線保田駅 9 時半集合、10 時発のバスで大崩に 向かう。のどかな山里の春の日差しを浴びながら、津森 山山頂に到着し、そこから愛宕山(408.2m)を千葉の最 高峰とする嶺岡山系を望み、次に360度の展望を有す る人骨山に立ち、穏やかな海原を遠くに望んだ。その 後15時発保田駅行きのバスに乗るべく下山し、大崩バ ス停に 14 時半過ぎに着く。各自ストレッチをしている最 中、14時46分ごろに足元が揺れだし、近くの農業用水 が道路へこぼれ出ているのを見て地震と確認した。定 刻通りバスに乗り、信号の消えた道を通過して保田駅 に到着するが、停電の為電車は動かず、津波警報もあ り帰宅を断念する。その場で各自行動食と持ち水を確 認し、予備の為に駅前の雑貨屋で買い求めたアンパン とクリームパンをそれぞれザックに詰めてから、津波情 報に耳を傾けながら、4人で隣の駅まで歩くことを決め た。国道 127 号沿いを注意しながら歩き、各自ヘッドラ ンプをつけて真っ暗なトンネルを通過したり、左手の浦 賀水道のかなたに三浦半島を望み、鮮やかな夕日や 波間にライトを点滅させながら漂う漁船群を見たりして、 18 時過ぎに浜金谷駅にたどり着く。

ここでも電車復旧の目途はなく、停電のため暗闇が町

を覆っていた。地元の人たちの後について富津市立金谷小学校体育館に入ると、住民にまじって神奈川、東京、埼玉、栃木などからの観光客を含む 200 人程が避難していた。寒々とした館内では、消防団や市役所職員の方たちが、照明やストーブを設置し、飲料水、ビスケット、温かいお粥を配っていた。私たちは 4 人の残った水をコッフェルに入れ、ストーブの暖をいただきなんとかお茶を飲むことが出来た。また、夜が更けるごとに寒さも増し、ザックの中の雨具などの衣類をすべて身につけ、配られた毛布にくるまって一夜を明かした。

翌12日、いまだ電車は動かず、お昼ごろに職員がバスを手配し、観光客を君津駅まで送り届けてくれた。幸運にも14時45分発千葉行き臨時電車に飛び乗り、乗り継いで夕方には無事帰宅することが出来た。

今回大変お世話になった富津市の皆さんに心から感謝を申し上げたい。また、山やの携帯品はいつも持ち歩くべきと痛感した一日であった。



# 雲取山と原生林

雲取山頂を境に埼玉県側と東京都側が原生林に覆われていて、山梨県側はカラマツの植林地になっています。 この中で日原谷(東京都)の両側だけに、今もたくさんの大木が残っているのです。

埼玉県に少ないのは、山が北面であり斜面が急なので 大木になる木が少なかったのだろう。そこへいくと日原谷 の斜面は割合なだらかで南側を向いている地形に大木が たくさん残っているのではないだろうか・・?

この日原への登山コースは、雲取山頂から北にのびる小尾根を三峰神社に向かって約30分降りたところに、雲取山荘があります。山荘の表南側は東京都に面しているのです。後ろ北側は埼玉県になっております。山荘の周辺は埼玉県側も東京都側も太い原生林に覆われています。山荘から北に30分降りると大ダワにつく。雲取山と芋の木ドッケの中間にあるタルミで大ダルミとも言われています。ここで登山道は三峰神社と日原に分かれているのです。谷に沿うように緩やかな下り道が、大ダワ林道になるのです。

緩やかな道に入ってすぐ右側に1本の大木があるのです。今から40年ぐらい前までは大木の幹に銘木アララギと墨で書いてありました。50数年前先代富田治三郎さんからこの木の話を聞かされていた。アララギの木では日本で二番目に太い木だと話してくれました。今は墨で書かれた字も消えてしまいました。こ2~3年水源林の職員の話では、日本で一番太い木になったと話してくれた。この木の周りには4~5本のアララギの木がありますが根元が半分になっていたり、空洞になっていたりして満足な木にはなっていないようです。



アララギの実

春には花が咲いているのだろうが、目につかないような小さい花なのだろうか、私は見ていないのです。それでも9月になると5ミリから1センチくらいの赤い実が枝いっぱいにつくのです。赤い実の真ん中には黒い種が入っていて、この実を小鳥たちが食べに来ているのです。黒い実を覆っている赤い実(果肉)は人間が食べると柔らかくほのかな甘みがあって木から落ちた果肉をテンやタヌキの動物たちが食べているのです。実のできる初秋には木の枝に

#### 雲取山荘 新井信太郎

十数羽の小鳥が果肉の中の実だけを食べに集まって食べているのです。

この場所からさらに降りて行くとマンサクの大木が数十本 固まって見られる場所があります。マンサクの花はポツポ ツ糸状の花がついているだけなので人目には花には見え ないので登山道を歩いているだけでは見落としてしまいま す。春に咲き、木の花の中では一番早く咲く花なのです。

日原谷を挟んで両側に数本の谷が流れ込んでいるのです。谷の面積はどのくらいなのか忘れてしまったが南側にあるので大木が多くあるのだと思います。この谷には地上1.3メートルでの幹回り3メートル以上の木(注;環境省での大木の定義)が千本以上もあるのだから、驚きですよね。この大木は調査人の話ではまだあるのではないかとも言っていました。この谷以外の東京都には四千本以上もの大木があるのだそうで、日本一の大木の多い都道府県なのだそうです。埼玉県の大木の数は知らないのだから・・?。特に奥秩父の国有林や村有林などは、昭和30年代に盛んに伐採されてしまい大木が残っていないのだろう。



日原谷で一番太いミズナラ(周囲 7m 以上)

私が測った中でミズナラの木で、この山で一番太いミズナラだとも聞いています。この木から50メートルほど谷に降りたところに桂の大木があります。埼玉県の一番太い木も桂だといわれているが、当時も今も変わっていないのだ

ろうか。



日原谷のそばにあるカツラ

山頂から西側に目を向けると、そこは一面の草原になっているのです。30年くらい前では色々な花が咲いて見る人たちを驚かせた。こんなにもきれいな場所があったのか、夏の山に訪れた若者たちは、あまりにもきれいな花を見て感激を味わうのです。その中には、気を引こうと女の子に抱えきれないほどの花を摘んで、プレゼントするのでした。その花を抱えて山小屋にやってきて自慢をしている女の子に私たちは持ってきた花を山小屋のおじさんにくださいというのです。女の子はキョトンとしてせっかく山頂から持ってきた花を取り上げられなければならないのかと、私たちに食って掛かるのです。今はこういう人はいないのですが・・・?。訳を話して理解していただいて納得していただく



三峰神社から雲取山

のですが。

今思うと、お花畑は防火帯に勝手に花が咲いて、そこを お花畑と呼んでいたのです。今はお花畑に咲く花は全部 シカに食べられてしまったのです。

そのあとにシカが食べない花マルバダケブキの花が 年々増えてきて、ここ5~6年マルバダケブキの美しいお 花畑に変わりました。

お花畑を囲むように大正から昭和にかけて東京都が植林をして東京都民の飲み水が困らないように確保したのだそうです。今では考えられないようなことを明治10年から計画を立てて立派な森にしていったのです。

その昔、昭和45年頃の話ですが、昔は山小屋でも犬を飼っていたことがありました。いつもは繋いでいたのだが、この日はちょっとしたことから小屋の人がはなしてしまったのです。3日間犬はどこへいったのか帰ってきませんでした。その日の夕方犬を連れた一人のおじさんが小屋の前に立っていました。この犬はお宅の犬だろうと言って犬を見せてくれました。この日一晩泊っていただいてもらいました。

水源林職員の話では原生林は山が崩れても時間がかかりますが徐々に自然に戻るのだそうです。

(注)写真は新井会員から提供されたものです。

#### 埼玉支部からのお知らせ

山梨支部・東京多摩支部・埼玉支部の合同で雲取山への登山を予定しております。埼玉支部が主担当です。

●日時 : 9月3日(土)~4日(日)

●宿泊と懇親 : 雲取山荘

●1日目コース: 三峰神社~霧藻ヶ峰~大ダワ~雲取 山荘~雲取山頂上

(\*)雲取山頂上に3支部が集中登山

●募集 : 8月上旬締切で募集予定

初秋の雲取山を登ってみませんか。支部の皆さんの参加をお待ちしております。



雲取山荘からの都心の夜景

## **埼玉県温泉情報** 県内入湯済 107 ヶ所から厳選(2011 年 5 月 8 日現在) 早川泉舟

コメント

源泉掛け流し。県内最高の温泉。黄緑色の湯が溢れて床まで染まってい

前庭から見る武甲山の眺めに感動。県内最高級和風旅館、懐石料理。古

代檜風呂。宿泊のみ入湯可。

温泉名称

(1) 極上の温泉

温泉名称

神流川温泉「白寿の

巴川温泉「松風亭」

No

2

露=露天風呂 露 ■

所在地•電話番号

神川町渡瀬 0274-52-5585

秩父市久那 0494-24-5151

		15間風台。16日のみ入傍り。		0494-24-5151
3	秩父川端温泉「凡の	庭の中にあり素朴な湯(アルカリ性冷鉱泉)、内湯・洗い場なし。現在夏季の	有	秩父市小桂
	湯」	み営業。併設する「梵の湯」(露天・内湯有、重曹泉)で通年営業。		0494-62-0620
4	中津川温泉	源泉掛け流し、内湯なし。秩父最奥地の中津川キャンプ場、周囲の自然に	有	秩父市中津川
		溶け込んでいる。		0494-56-0021
5	両神温泉「両神荘別	源泉掛け流し、檜風呂の香りが爽やかな気分にさせる。小鹿野町営国民宿	有	小鹿野町両神小森
	館:すすきの湯」	舎。		0494-79-1221
6	玉川温泉「湯郷玉川」	源泉掛け流し、肌に心地よい湯なので湯上がり後もさっぱりする。	有	ときがわ町玉川
				0493-65-4977
7	百観音温泉	源泉掛け流し、県内唯一高温度温泉。JR 東鷲宮駅前。	有	久喜市西大輪
				0480-59-4126
8	坂戸温泉「ふるさとの	秩父連峰の眺望がすばらしいので、心身ともに癒される。	有	坂戸市栗生田
	湯」			049-284-4126
9	清河寺温泉「いずみ	源泉掛け流し、長湯してものぼせない、濁り湯、湯船多数有。敷地と建物は	有	さいたま市西区清河寺
	の湯」	さいたま市景観賞受賞。		048-625-7373
10	見沼天然温泉	源泉掛け流し、濁り湯、湯船多数有。敷地が広いのでのんびりできる。	有	さいたま市見沼区染谷
	「小春日和」			048-686-3636
(2) 特	Fにお薦めの温泉			
11	すいじん温泉	ユニークな竹風呂が楽しい、荒川に面しているので涼やかな風を体感でき	有	秩父市黒谷
		る。		0494-24-4422
12	大滝温泉「遊湯館:三	眺めがすばらしい。湯量豊富。道の駅にある。	有	秩父市大滝
	峰神の湯」			0494-55-0126
13	秩父農園温泉「農園	高台にあり、湯船から秩父市内が一望でき、満足感に浸れる。		秩父市上宮地(ナチュラルフ
	ホテル」			ァームシティ) 0494-22-2000
14	秩父吉田温泉	明るく広いので、リラックスできる。併設「リゾートホテルバイエル」	有	秩父市下吉田
	「星音の湯ばいえる」			0494-77-1188
15	小鹿野温泉「本陣寿	源泉2ヶ所(延寿の湯・寿の湯)、湯量豊富で2つの湯船から溢れている。歴		小鹿野町
	旅館」	史を感じさせる旅館。		0494-75-0079
16	都幾の湯温泉	静かな所にあり、ゆったりとした時間を過ごせる。古民家併設。	有	ときがわ町別所
	「都幾川四季彩館」			0493-65-5515
17	大利根温泉	源泉掛け流し、湯量豊富で湯船から溢れるのが気持ちよい。		加須市琴寄(総合福祉会館
	「100 の湯:とねの湯」			内) 0480-72-5069
18	彩の国さくらそう温泉	夜景がすばらしい。濁り湯、強塩泉。JRさいたま新都心駅からすぐ。	有	さいたま市中央区
	「ラフレ」	(*)露天風呂は要水着		048-601-1111(かんぽの宿)
19	川口温泉「天然温泉ゆ	県内唯一のコーラ色(黒)の湯。街なかのため、交通の便が良い。		川口市上青木
	の郷:スパ・ヌサディア」			048-254-1126
20	早稲田天然温泉	源泉掛け流し、眺めが良いのでゆっくり入っていられる。濁り湯。	有	三郷市仁蔵
	「めぐみの湯」			048-957-7777
$(3)^{\frac{1}{2}}$	ぶ薦めの温泉			

29	名果フシワム温泉「大松阁」
30	江間忠神戸温泉「羽生湯ったりる
(4)未	入湯ですが、ぜひ行きたい温泉

新木鉱泉「新木鉱泉旅館」

丸山鉱泉「薬草花悦の湯」

都幾川温泉「旅館とき川」

おがわ温泉「花和楽の湯」

深谷花園温泉「リゾート花湯の森:薬師の湯」

赤谷温泉「小鹿荘:ほたるの湯」

白久温泉「谷津川館」

秩父温泉「満願の湯」

No 21

22 23

24

25

26

27

28

\*\* 大陽寺鉱泉「大陽寺宿坊」(登山2時間30分。宿坊宿泊のみ入湯可) 有 秩父市大滝 0494-54-0296

露

有

有

有

有

有

有

有

有

所在地•電話番号

秩父市山田 0494-23-2641

横瀬町 0494-23-3439

秩父市荒川白久 0494-54-1400

皆野町下日野沢 0494-62-3026

深谷市人見 048-551-1126

羽生市神戸 048-563-3726

飯能市下名栗 042-979-0505

ときがわ町大字大野 0493-67-0331 小川町角山 0493-73-2683

小鹿野町三山 0494-75-0210

### 埼玉支部平成23年度総会開催

4月2日(土)午後に埼玉会館(浦和)で埼玉支部平成23年度総会が開催された。石橋支部長からこの1年を振り返り次のような趣旨の挨拶があった。

- ・交流する拠点ができ新たな仲間との出会いを実感
- ・会員獲得のために他支部で採用している会友制度導入 を提案
- ・委員会や同好会への会員参加意識向上により魅力ある 支部活動を実現

続いて昨年度事業報告、今年度事業計画の説明と質疑、 承認がおこなわれた。なお、会館の都合で飲食ができなくなったので、総会後の会場で、各委員会・同好会のメンバ紹介 がおこなわれ、懇親を深めることができた。

# 平成23年度事業計画決定

埼玉支部平成23年度総会での平成23年度事業計画決定に基づき今年度のカレンダーを下記のようにまとめました。 会員の皆さんはこのカレンダーにある事業に積極的に参加して戴くことをお願い致します。

なお、諸事情により事前に変更する場合もありますのでご 容赦下さい。変更の場合は事前に(1ヶ月前)メール・ホーム ページでご連絡いたします。

月	事業計画
4月	2日 平成23年度総会 9日 総会記念山行(両神山白井差新道) 17日 障がい者ふれあい登山(日和田山)
5月	7日 50山山行(簑山) 下旬 支部報第3号発行
6月	4日 50山山行(観音山(熊谷市)と丸墓山) 11-12日 春の山(安達太良山)福島支部合同 15日 第3回安全登山講演会「夏山登山の山岳気象」 26日 自然保護委員会森づくり活動(下刈り)
7月	2日 50山山行(棒ノ折) 30-31日 夏の山(山研泊・焼岳他)
8月	6日 50山山行(城峰山)
9月	3-4日 山梨・多摩との合同登山(雲取山) 9-16日 ジャワ島トレッキング 10日 50山山行(登谷山) 日未定 自然保護シンポジューム 日未定 自然保護委員会森づくり活動(間伐) 下旬 支部報第4号発行予定
10月	1日 50山山行(秩父御岳山) 日未定 第4回安全登山講演会(テーマ未定) 月日未定 秋の山(1泊2日、会津の山2つ)
11月	3日 50山山行(伊豆ヶ岳) 日未定 自然観察会(大高取山)
12月	10-11日 忘年山行(笠山/堂平山)&講演会 (2日目に大霧山に登る案もあり) 日未定 自然保護委員会森づくり活動(枝打ち)
1月	3日 50山山行(鐘撞堂山) 28日 第5回安全登山講演会「遭難事例と対策」 下旬 支部報第5号発行予定

2月	4日 50山山行(越上山) 中旬 スキー集会(嬬恋山荘泊・パルコールスキー場) 日未定 第1回安全登山講習会「救急法(予定)」 月日未定 冬の山(1泊2日、嬬恋山荘泊、湯の丸山)
3月	3日 50山山行(大霧山;変更の可能性あり)

# 50山ラリー実施状況

埼玉支部が主催した、または主催予定の山行で50山に関係するものを挙げてみました。これまでのところ、不思議とよい天気に恵まれております。

	えに思まれて	1970178	
No	山名	標高	支部山行実施状況
1	三宝山	2483.3m	
2	甲武信ヶ岳	2475m	
3	木賊山	2468.6m	
4	雁坂嶺	2289.2m	
5	飛竜山	2069.1m	
6	白石山	2036.0m	
7	雲取山	2017.1m	2011-9-3,4(予定) 山梨・東京多摩との合同登山
8	笠取山	1953m	
9	三国山	1834m	
10	両神山	1723.0m	2011-4-9 総会記念山行
11	天目山	1718.3m	
12	大平山	1603.0m	
13	霧藻ケ峰	1523.1m	2011-9-3,4(予定) 雲取山合同登山
14	蕎麦粒山	1472.9m	
15	秩父槍ヶ岳	1430m	
16	熊倉山	1426.5m	
17	矢岳	1357.9m	
18	武甲山	1295.4m	2010-11-13「50 山山行」
19	有間山	1213.5m	
20	二子山	1165.8m	
21	御岳山	1080.4m	2011-10-1「50 山山行」(予定)
22	武川岳	1052m	
23	城峰山	1037.7m	2011-8-6「50 山山行」(予定)
24	棒ノ折山	969m	2011-7-2「50 山山行」(予定)
25	丸山	960.3m	2010-4-11 設立記念山行
26	堂平山	875.8m	2011-12-10 忘年山行(予定)
27	伊豆ヶ岳	850.9m	2011-11-3「50 山山行」(予定)
28	笠山	837m	2011-12-10,11 忘年山行(予定)
29	四阿屋山	771.6m	2011-3-5「50 山山行」
30	大霧山	766.6m	2012-3-3「50 山山行」(予定) 忘年山行 2 日目になる可能性もあり
31	登谷山	668m	2011-9-11「50 山山行」(予定)
32	破風山	626.5m	
33	簑山	586.9m	2011-5-7「50 山山行」
34	越上山	566.5m	2012-2-4「50 山山行」(予定)
35	陣見山	531.0m	
36	宝登山	497.1m	2011-2-5「50 山山行」
37	大築山	466m	
38	雷電山	418.2m	
39	物見山	375.4m	2011-1-8「50 山山行」 2011-4-17 ふれあい登山
40	鐘撞堂山	329.9m	2012-1-3「50 山山行」(予定)

と警察に提出していれば捜索地域を特定できるため、それだけ生還率は高くなるという話しを事故例を紹介しながら何度も何度も説明されていた。そして近年発生している山ガールの事故、山おばさん達の事故は、予想外の状況下での事故であるが、警察から見れば同じ山岳遭難。その内容に驚かされると言う。さらに昨年7月に発生した埼玉県防災ヘリが奥秩父で墜落した事故と、その第一遭難者の事故については

飯田副隊長は、山岳会などで基本を学びながら技術向上 に努め、自分のレベルにあった登山を実行し、登山届けを家

飯田副隊長県警山岳救助

安

現場の図を描いて詳細な説明があった。

2011年(平成23年)1月30日(日曜日) 社 会 (18)

族と警察に必ず提出してくださいと締めくくった。

41	日和田山	305.0m	2011-1-8「50 山山行」 2011-4-17 ふれあい登山
42	金勝山	263.9m	2010-12-11 忘年山行
43	天覧山	197m	
44	物見山	135.0m	
45	二ノ宮山	131.7m	
46	荒幡富士	119.1m	
47	大久保山	112m	
48	観音山 (熊谷市)	77.4m	2011-6-4「50 山山行」(予定)
49	丸墓山	35.7m	2011-6-4「50 山山行」(予定)
50	浅間山	約 20m	2011-1-15 支部懇談会

(\*)各山の詳細な情報は、支部報第1号の付録、または埼玉支部のホームページを参照願います。ホームページでは各山周辺地図にリンクすることができます。また入手した画像を随時追加しております。会員の皆さまからの四季折々の写真をお待ちしております。

(\*\*)50 山ラリーでは、登った50 山の数によって景品が進呈されます。 2010(平成22)年4月以降に個人で登った方は支部報第2号で お知らせした要領で事務局へ申告ください。

### 第2回安全登山講演会開催

他人事ではない山岳遭難 その原因と安全登山対策 後援: 埼玉県教育委員会・埼玉新聞社

平成23年1月29日(土)午後1時から、さいたま市の勤労者福祉会館(ときわ会館)501号室にて、安全登山委員会主催の第2回安全登山講演会として「他人事ではない山岳遭難-その原因と安全登山対策」と言う題名で、埼玉県警察山岳救助隊の飯田雅彦副隊長による講演が行われた。会場は真剣な眼差しの85名の山岳関係者で満席であった。

年々増加傾向にある埼玉県内の山岳遭難は、昨年60件発生し遭難者数は104名、死亡者10名であった。その事故の中でも中高年登山者が6割、家族や警察にも登山計画書を提出していない事故が多く、「息子が秩父の山に行って帰らない!」と言われても警察は捜索地域が特定できず困ると言う問題に直面しているとのこと。せめて登山計画書を家族

# 

#### 埼玉新聞記事(1月30日朝刊)より

因みに、来年平成24年1月28日(土)同じ飯田副隊長に よる平成23年の遭難事故についての講演会を開催予定で ある。(担当 安全登山委員 遠山元信)

[お願い]6月開催の日本山岳会の総会は公益法人移行のための重要な位置づけを持ちます。必ず忘れずに出席または委任状を返信するようにして下さい。

#### 埼玉支部の委員会状況

各委員会からの情報です。支部委員会での情報をもとに、支 部報前号発行以降の状況を広報委員会で編集したものです。

#### ●総務委員会

- · 平成 22 年度会計決算、平成 23 年度会計予算
- ・4/2 埼玉会館で平成23年度の総会を実施本号内の記事を参照方。
- ・他支部の会友制度を調査 支部活動を活性化するために若い人が入会しやすい会 友(支部友とも呼ばれる)制度に関わる運営規定などを 調査。

#### ●広報委員会

- ・1月末に支部報第2号発行、5月末に第3号を発行。
- ホームページへのコンテンツを随時見直し
- ・50 山ホームページのリニューアル検討

#### ●山行・集会委員会

#### [開催行事]

・2/5-2/6 スキー集会(嬬恋村)実施5名(含;会員外1名)参加。パルコール嬬恋スキー場周

辺を滑った。

・2/19-2/20 冬の山(奥日光)実施 10名が参加。学習院光徳小屋に泊ってスノーシューなど で周辺を散策。

#### [50 山山行]

• 2/5 第 4 回 宝登山

12名参加。野上駅から長瀞アルプスを通って山頂へ。途中、氷池に寄る。山頂ではロウバイを鑑賞。

- · 3/5 第 5 回 四阿屋山
  - 10名参加。フクジュソウを鑑賞。山行後、薬師の湯で入浴。
- ・4/9 第6回 両神山(総会記念山行) 26名参加。西武秩父駅からジャンボタクシーで登山口ま で行き登山道開発者の山中氏の先導で白井差新道往復。
- •5/7 第7回 簑山

15名参加。秩父鉄道親鼻駅からヤマツツジが綺麗な山頂へ。帰りは和銅遺跡経由で黒谷駅へ。

(\*)行事・山行の今年度の予定については本号の「事業計画 決定」「50 山ラリー実施状況」を参照方。

#### ●自然保護委員会

- ・9月に JACK 大宮で自然保護シンポジュームを開催予定
- ・11月に自然観察会を予定(場所は大高取山)
- ・埼玉サポーターズクラブと連携して森づくり実践活動予定 年3回程度(下刈り、間伐、枝打ち) 下刈りは6月26日に入間で実施予定。
- ・シカ被害森林実態調査(第1回は5月に実施)

#### ●安全登山委員会

- ・1/29 第2回安全登山講演会を開催(本号記事を参照方)
- ・6/15 第3回安全登山講演会「夏山登山の山岳気象」予定
- ・10月 第4回安全登山講演会予定 (テーマは調整中)
- ・来年1月 第5回安全登山講演会「県内遭難事例・対策」 予定(今年1月の第2回と同様)
- ・来年2月 第1回講習会(救急法)予定
- ・ホームページ、メールにより山岳遭難・登山道・安全登山 に関する情報を随時提供

#### ●社会貢献委員会

- ・4/17 平成23年度障害者ふれあい登山を実施(詳細は本 号の記事を参照してください) 来年度も実施予定
- ・昨年度に引き続き県内の登山関連組織や自然保護団体等の 調査を実施予定

#### 同好会の状況

昨年の秋から同好会を支部内に作ることができるようになりましたが、支部2年目を迎えて、同好会の活動も活発になりそうです。全国の支部に同好会活動をお手本として広げることができれば幸いです。以下、広報委員会がまとめたものです。

#### ●陸地測量部

昨年 10 月から活動しており、現在は藤野部長、遠山副部長を含 めて9名の部員がいる。「登山ルートがない、案内書がない、有名で はない」といった山を探して、皆で楽しんで登りたいと考えており、地 元集落に歴史があって、そんなに高くない山を物色するために、群 馬県との境あたりの山を調査している。第1回の調査は3月5日(土) に、部員7名に石橋支部長を加えて実施した。既に本庄市在住の 部員が数度に渡って現地調査を進めていたので、頂上で下山方向 を間違えて登り直すことがあった程度で比較的順調に調査すること ができた。山の中では各自が地図で現在位置を同定したり、山の地 形に詳しい部員による埼玉の山の特徴に関するレクチャーがあった り、楽しくも緊張しながらの登山であった。この度の山は季節を変え てもう少し調査を実施してから支部内に報告する予定である。なお、 この度の山は報告後も、事前の交通機関等の調査、現地での地 図・磁石によるルート決めが必要となり、自己責任で登るべき山であ る。他に自然保護委員会とコラボレーションして奥秩父の山を調査 することも計画されている。

また東日本大震災による地殻変動で国土地理院が三角点の標高や経緯度の成果利用を停止していることに関連した調査を、「1000年に1度のチャンスを逃すな」という藤野部長の激によって埼玉県の臍とも言える堂平山の一等三角点で GPS を設置して実施した。国土地理院資料 http://www.gsi.go.jp/common/000060166.pdfで確認してみると埼玉県では東へ 50cm未満の移動とあるが、GPSで実際にどの程度の変異となっているかを確認したところ 5/100 秒程度の変異として測定された。これで震災による地殻変動の証明と

なるのかは、素人なので分からないが、陸地測量部ではこのような 活動もしている。



陸地測量部では希望者が「陸地測量部」と染め抜いたお揃いの 半纏を入手・着用する予定である。地図の読み方を覚えたい人、山 座同定をしたい人、道を探しながら山に登りたい人、半纏を着て目 立ちたい人は是非入部して下さい。歓迎致します。

#### ●アルパインスケッチクラブ埼玉支部

4月の支部委員会で設立申請された。本部の同好会であるアルパインスケッチクラブの「埼玉支部」という位置づけである。以下、事務局の冨樫会員からのメッセージ。

若い時にがむしゃらに登った山登りと、今の登れる山や登り方や 楽しみ方は異なってきます。山でのスケッチも山登りの楽しみの1つ と考えています。山頂からの遠くの山々のスケッチ、山麓の山里から 見上げる雪山のスケッチ、時にはわずかな休憩の時間にハガキ大



の画用紙にスケッチ、山麓で大きな画用紙を広げてゆっくりと時間をかけてスケッチ等、様々な楽しみ方があります。埼玉支部の山行で描いたり、スケッチ山行を企画したり、山の絵を描くことを通じて共にクラブライフを楽しみませんか。日本山岳会同好会のアルパインスケッチクラブの会員が数名、埼玉支部会員にもなっておりますので共に楽しむことが出来ると思います。

#### 埼玉支部の会員異動(2011年5月末日現在)

入会:神森登代子(13221)、 川村利子(13801)、 石塚昌孝(14883)、 小嶋和夫(14848)、

野田秀樹(14888)

退会: 大橋 晋(4824)、 柳澤 宏(7898)、 湯本一彦(9887)、 平野和夫(14326)、

綾部昌利(14781)

#### 編集後記

埼玉支部は2年目を迎え、開催される行事も充実して来ました。 同好会も盛況になって賑やかになりそうです。ところで地震の ときはどう行動されたでしょうか?宮川さんの体験を読むと、 山道具はいざというときに役に立つということが分かります。 道具だけでなく安全登山講演会などからの知識も災害時には 役立つと思います。(堀川) 日本山岳会埼玉支部報 第3号 2011年(平成23年)5月31日発行

(社)日本山岳会 埼玉支部 発行者:石橋正美 編集者:堀川清 事務局:〒365-0053 鴻巣市緑町5-16 冨樫方

ホームページ: http://jac.ec-site.jp E メール: info@jac.ec-site.jp